

第72期 株主通信

第2四半期連結累計期間(2018年4月1日~2018年9月30日)



Think Automation and beyond...

Top Message

株主の皆さまへ

当第2四半期連結累計期間(上期)の売上高は、HMIソリューション製品をはじめとする主力製品群が堅調に推移したことに加え、新たにグループ化した企業の売上が寄与した結果、318億5千2百万円(前年同期比8.7%増)となりました。

営業利益は、主力製品群の売上増加などにより、32億9千3百万円(前年同期比6.4%増)となり、四半期純利益は為替差損益の影響や特別損失の計上などにより、23億9千7百万円(前年同期比21.1%減)となりました。

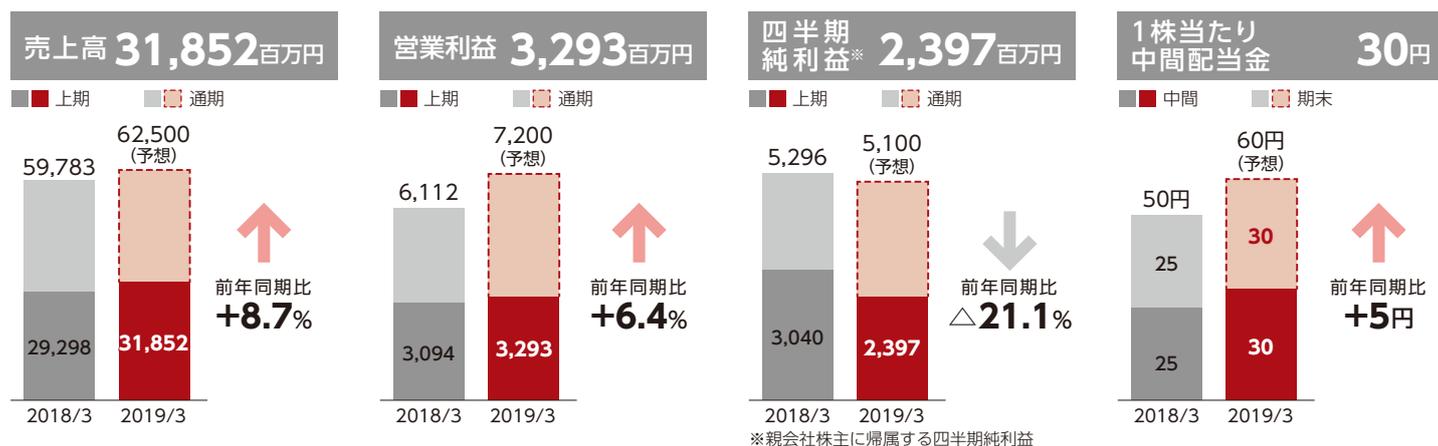
なお、当期の業績を踏まえて総合的に検討した結果、中間配当金と期末配当金予想を期初予想の1株当たり25円から、1株当たり30円にそれぞれ修正いたしました。引き続き、売上拡大と収益の向上に向けて全社一丸となって取り組んでまいりますので、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役会長兼社長

船木俊之

財務ハイライト

売上高と営業利益は上期として2期連続で過去最高を更新しました。



製品別売上高

HMIソリューション

- ・制御用操作スイッチ
- ・ジョイスティック
- ・表示灯



15,457百万円

前年同期比
+9.7%



盤内機器ソリューション

- ・スイッチング電源/制御用リレー/端子台
などの制御用盤内機器
- ・産業用LED照明



5,930百万円

前年同期比
+5.9%



オートメーションソリューション

- ・プログラマブルコントローラ
- ・プログラマブル表示器
- ・自動認識機器



4,296百万円

前年同期比
+19.9%



安全・防爆ソリューション

- ・安全関連機器
- ・防爆関連機器



3,466百万円

前年同期比
+11.4%



システム

- ・セキュリティシステム
- ・各種システム



1,678百万円

前年同期比
+11.3%



その他

- ・再生可能エネルギー事業
- ・次世代農業ソリューション
- ・協調安全ロボットシステム
- ・ウルトラファインバブル発生装置



1,022百万円

前年同期比
△27.4%



地域別売上高

日本

14,376百万円

前年同期比
+7.3%



米州

4,912百万円

前年同期比
+3.8%



EMEA (欧州、中東、アフリカ)

5,713百万円

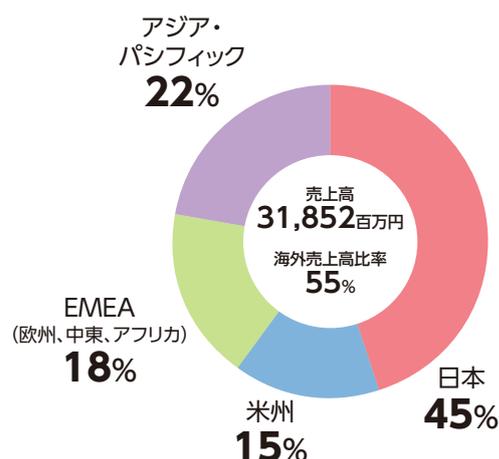
前年同期比
+15.5%



アジア・パシフィック

6,850百万円

前年同期比
+10.1%



業績ハイライト

日本においては、環境関連事業が減少したものの、新たにグループ化したウェルキャットや東京センサなどの業績が寄与したことに加え、HMIソリューション製品や安全・防爆ソリューション製品が堅調に推移しました。

海外においては、APEMが好調に推移したこともあり、欧州を中心にHMIソリューション製品が伸長しました。また、米州ではプログラマブルコントローラなどのオートメーションソリューション製品が堅調に推移し、中国を中心とするアジア・パシフィックでは、制御用リレーなどの盤内機器ソリューション製品が伸長しました。

食品加工業界で活躍する食品箱詰装置に、 IDECグループの安全関連機器が採用されました！



人手不足や人件費の高騰などの影響により、製造現場だけでなく食品加工業界などでも生産ラインや工程の自動化が進んでいます。

マツダエース様の「食品箱詰装置」は、コンビニなどのおにぎり製造ラインで完成した商品を、ロボットで掴み、搬送用ケースに格納する装置です。その装置に、IDECのセーフティレーザスキャナ「SE2L形」や非常停止用押ボタンスイッチ、2017年にグループ会社となったAPEMのメタルスイッチをご採用いただきました。

優れた検出能力を持ち、小形で取り付けの自由度が高いセーフティレーザスキャナは、搬送用ケースの入れ替えなどの際に、人の接近を検知し機械を停止させることで、接触事故を未然に防止します。

また、凹凸がなく埃などが溜まりづらい特徴を持つ非常停止用押ボタンスイッチや、メタル製で耐環境性能が高いAPEMブランドのスイッチは、衛生面に配慮する必要がある食品加工業界に最適な製品です。

IDECグループは、多様な製品やアプリケーションをご提供することで、生産性と安全性の向上に貢献しています。



人やモノの接近を検知する
セーフティレーザスキャナ
【SE2L形】

食品箱詰装置



非常停止用
押ボタンスイッチ
【XWシリーズ】



APEMブランドの
メタルスイッチ
【AVシリーズ】

お客様の声

搬送用ケースの入れ替え時に、ライトカーテンでは人に当たって壊れたり、光軸がずれることがありましたが、検出能力が高くコンパクトなIDECのセーフティレーザスキャナを採用したことで、これらの課題を解決することができました。

マツダエース株式会社
プラントテクノロジー事業部
開発部 谷辺 智彦 様

お客様のご紹介

マツダエース株式会社

1964年の創業以来、生産設備・カーライフサポートなどの面から、新規商品・新サービスを生み出してこられた、マツダ株式会社のグループ企業です。

IDEC グループ企業紹介

APEMのグループ化により、 HMIのグローバルNo.1カンパニーを目指します。

2017年3月に、フランスの産業用スイッチメーカーであるAPEMがIDECグループに加わりました。APEMは1952年の創業以来、HMI (Human-Machine Interface) のグローバルトップメーカーの一社として世界を牽引してきました。世界11か国に拠点をもち、多様な産業向けの各種スイッチやジョイスティックなどの開発、製造、販売を行っています。

2017年11月から、デザイン性や耐環境性に優れたAPEMブランドの押ボタンスイッチやトグルスイッチ、ロッカースイッチ、表示灯など一部製品の販売を日本で開始し、2018年からはジョイスティックなどの販売も順次行っています。

製品ラインアップの拡充と新規市場への参入により、幅広い業界のお客様のニーズにお応えする多様な製品をご提案することで、IDECグループはHMIのグローバルNo.1カンパニーを目指します。

主要製品



押ボタンスイッチ



ジョイスティック



ロッカースイッチ

会社概要

会社名 APEM SAS
所在地 フランス
設立 1952年
社員数 1,319名(2018年3月末現在)
事業内容 制御機器の開発・製造・販売など



本社(フランス・コサード)



APEMのマネジメントチーム



Topics

さまざまなCSR活動を推進

IDECグループは、「安全の普及」と「持続可能な社会の実現への貢献」をCSR活動の2つの重点課題とし、企業の社会的責任を果たすための取り組みを推進しています。

社会的責任を果たすためには、サプライチェーン全体でCSR活動に取り組むことが重要であると考え、2018年8月7日に主要サプライヤーさまを対象としたCSR調達説明会を開催しました。

また10月を「CSR月間」と定め、途上国の子どもの学校給食への支援活動である「TABLE FOR TWO」の本社食堂での実施や、CSRに関わる映画の社内上映会の開催に加え、「CSRガイドブック」の発行による社内浸透を進めるなど、CSRへの意識向上につながるさまざまな取り組みを実施しました。

持続可能な社会の実現に向けて、今後もCSR活動に積極的に取り組んでいきます。



CSR調達説明会



TABLE FOR TWO

Topics

国内外の展示会に出展し、IDECグループの強みをPR

2018年9月、10月にさまざまな展示会が開催され、東京センサやIDECファクトリーソリューションズ、愛徳電機貿易等のグループ会社とともに、国内外で多様な製品やソリューションを紹介しました。

「国際総合物流展」と「関西機械要素技術展」では、接触・衝突検知が可能なバンパースイッチや、エリア内の人・モノを検知するマットスイッチ、非常停止用押ボタンスイッチ等の安全関連機器を紹介し、「SOUZAI JAPAN 中食・惣菜設備展」では、人手不足が課題となっている食品製造業を対象とした、協働ロボットを用いたアプリケーションを展示しました。

その他にも、上海で開催された「中国国際工業博覧会」では、自動車や工作機械等のIDECが注力している業界が抱える問題の解決事例を中心に展示しました。

これからも、さまざまな業界のお客さまのニーズを汲み取り、それぞれの課題に最適なソリューションを提供してまいります。



新技術を搭載したバンパースイッチのデモ機



食品製造業向けの協働ロボットシステム



中国国際工業博覧会

株主メモ

| | |
|-------------------|--|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年 |
| 配当金受領株主 確定日 | 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 |
| 株主名簿管理人 事務取扱場所 | 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| お問い合わせ先 | ☎ 0120-782-031 (受付時間 9:00~17:00 土日祝日を除く) |
| 公告の方法 | 電子公告により行います。 http://jp.idec.com/ja/aboutIDEC/ir/stockholder_info ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。 |

●株主さまの住所変更、買取・買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。

CSRページをリニューアルしました



IDECグループのCSR活動の取り組みをご紹介します。ぜひご覧ください。

<http://jp.idec.com/ja/csr>